

平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立立川国際中等教育学校 中等教育学校		中等教育学校														
		国際社会に貢献するリーダーを育成		基 本 情 報	入学 選 抜 情 報	募集人員		一般枠: 男子65人・女子65人、海外帰国・在京外国人枠: 30人										
基 本 情 報	所在地	〒190-0012 立川市曙町三丁目29番37号				電話 番号	042-524-3903		応募倍率	27年度	男子	4.46	28年度	男子	5.02	29年度	男子	4.52
		アクセス	(1) JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅 バス(北町行立川国際中等教育学校下車)12分 (2) JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅 徒歩18分 (3) JR南武線西国立駅 徒歩20分				女子	6.65			女子	6.34		女子	5.46			
本 情 報	特色ある 教育活動 (学校設定科目等)	① 教育理念「立志の精神」・「共生への行動」・「感動の共有」		前期課程	生徒在籍数		479人(男子232人・女子247人)											
		② 6年一貫教育を通じた幅広い教養教育			後期課程		455人(男子204人・女子251人)											
報	教育活動	③ 国際社会で活躍できる力を身に付けるための国際理解教育		主な学校行事	HR合宿(1年次)、英語合宿(2年次)、国内研修旅行(3年次)、英語発表会		宿泊防災訓練(4年次)、海外研修旅行(5年次)											
		④ 自己実現に向けた体系的なキャリア教育と計画的な進路指導			主な部活動		サッカー、バスケット、テニス、バドミントン、野球、ラクロス、吹奏楽、英語、茶道、科学											
報	教育活動	⑤ 第二外国語(フランス語、ドイツ語、中国語)、海外大学進学に向けた選択教科		校 服	男子	制服	ブレザー(紺)		自 律 経 営 推 進 予 算 29年度(単位:万円)	1.897	女子	制服	ブレザー(紺)		その他		体育祭(5月)、文化祭(9月)、合唱祭(2月)	
		⑤ 第二外国語(フランス語、ドイツ語、中国語)、海外大学進学に向けた選択教科			学校評価		学校生活への満足度:生徒87%、保護者92%、授業についての肯定的評価:生徒80%、保護者82%											
目指す学校		国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する学校																
今年度の重点目標				今年度の取組と自己評価														
目 標 ①	企画調整会議、教科主任会議を中心とした学校運営 企画調整会議、教科主任会議をそれぞれ校務運営、教科指導改善の企画・立案を行うシンクタンクとして学校運営の中核に位置付け、年間計画に基づいて計画的に実施するとともに内容の改善・充実を図る。			企画調整会議は校務運営の連絡調整だけでなく、企画・運営を行える状況になってきた。また、教科主任会議は、定期考査分析を主体的に行うとともに講習・補習等の企画・調整、教育課程の検討など、当初のねらいを十分に果たす機能をもってきた。次期教育課程の編成に向けて、分掌主任を中心とした企画調整会議と教科主任を中心とした教科主任会議を、更に積極的に活用していく。														
目 標 ②	アクティブ・ラーニング、探究型学習、表現力を育成する指導の充実 年間計画に基づいた校内研修の実施や先進校視察、教員への情報提供を行うとともに校外への研修にも積極的な参加を促す。また、教科主任会議なども活用して、特に記述力に焦点化して表現力の育成に向けて、各教科の取組を共有するとともに学校としての取組を検討・実践する。			校内研修、先進校視察等は計画通り実施できた。校内研修では次期学習指導要領の実施に向けて充実した情報共有や意見交換・集約を行うことができたが、先進校視察の成果の共有は不十分であった。校外の研修については、指導教諭による授業研究を4回実施、指名制による授業研究が6名、大学入試説明会・教科研修が73人の参加を見た。記述力に焦点化した表現力の育成については、各教科の取組の共有と学校としての取組の検討は行ったが、実践にまでは至らなかった。														
目 標 ③	姉妹校交流の推進 昨年度姉妹校交流の協定を締結したオーストラリア・クイーンズランド州立高校ALBANY CREEK STATE HIGH SCHOOL、BEENLEIGH STATE HIGH SCHOOL 両校との交流内容を具体的に構築し実践する。			姉妹校交流協定締結後、第5学年6期生が、オーストラリア・クイーンズランド州立高校ALBANY CREEK STATE HIGH SCHOOLとBEENLEIGH STATE HIGH SCHOOLの 両校を訪問し、2日間にわたって授業参加や生徒交流などを実施。両校の本校訪問は、先方の意向は強いものの計画段階。今後具体的に詰めていく必要がある。														
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容								26年度	27年度	28年度	今年度	30年度	31年度	32年度			
	目標①	学校評価(生徒・保護者の満足度)		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標				
	目標②	難関国公立大学等合格者数		12	5	15	13	15	1	15	9	15	15	15				
	目標③	平均自宅学習時間(分)		170	105	170	100	150	143.4	180	155.9	180	180	180				